

はじめに

神奈川県道路を取りまく現状

神奈川県は、日本を代表する国際貿易港である横浜港や、産業技術が集積する川崎等を擁する一方、箱根、丹沢や湘南海岸などの多様な自然や、古都鎌倉に代表される特異な歴史、文化を有しています。そして、これら産業や観光などの幅広い活動が、道路交通に依存しています。

しかしながら、県内の道路の現状をみると、主要な交差点を中心に慢性的な交通渋滞が発生し、輸送効率や移動の快適性が低下しているとともに、多発する交通事故や環境負荷の増大といった問題が顕在化しています。

さらに、これからの道路行政においては、歩行者、自転車等の視点からみた施策・事業の展開も重要となっています。

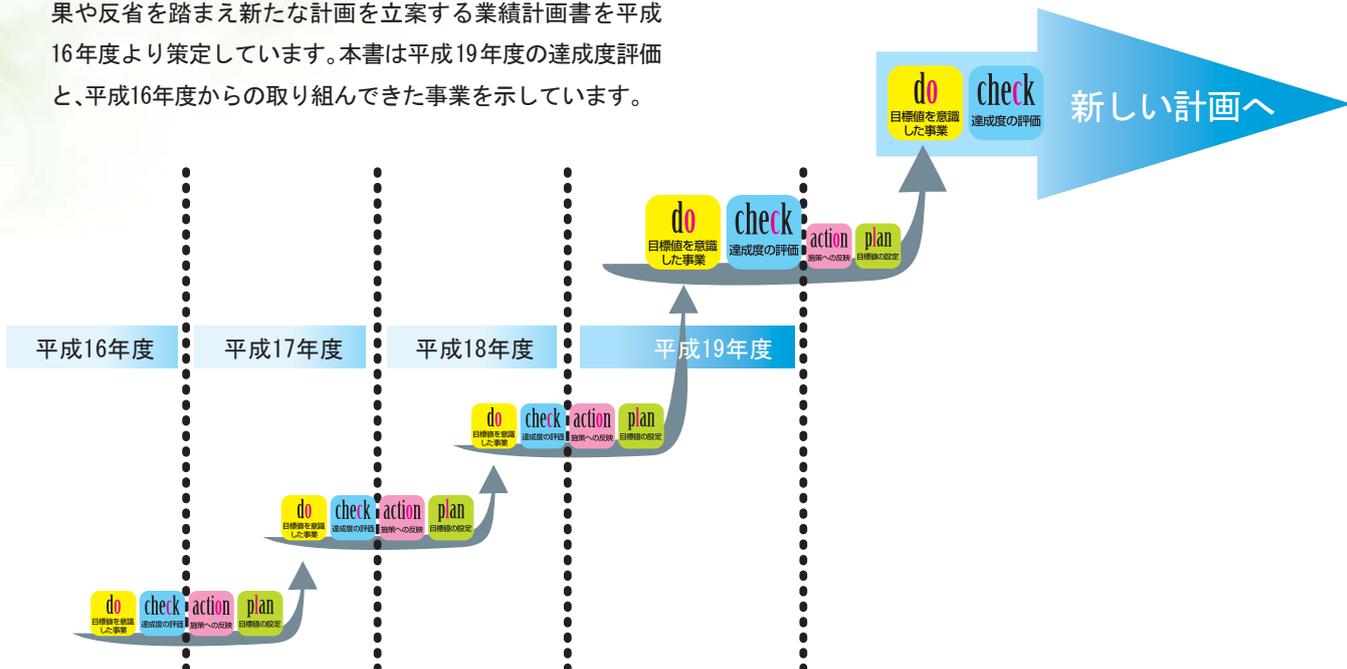
成果志向の展開

道路事業の必要性や妥当性を数値による成果指標を用いてわかりやすく説明するとともに、その結果をあわせて公表し、今後の施策・事業に反映していく、道路行政マネジメントシステムを推進しています。



平成19年度達成度報告書

神奈川県道路協議会*は、道路行政マネジメントシステムの一環として、事業の達成度を評価する達成度報告書、その結果や反省を踏まえ新たな計画を立案する業績計画書を平成16年度より策定しています。本書は平成19年度の達成度評価と、平成16年度からの取り組んできた事業を示しています。



* 神奈川県道路協議会：神奈川県、横浜市、川崎市、国土交通省、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社

本書の使い方

神奈川のみちづくり

成果指標ごとに取り組みをまとめています。

平成19年度の達成度報告書

“今”の神奈川

目標値を意識した事業

平成16年度から実施した主な事業

心にゆとりスムーズ道路

指標 1-1 渋滞発生率
指標 1-2 渋滞損失時間

都市部の中心に著しい渋滞が発生

■ 渋滞箇所は県内で3箇所存在し、内環状道路交通を阻害
渋滞箇所は県内で3箇所存在し、内環状道路交通を阻害
渋滞箇所は県内で3箇所存在し、内環状道路交通を阻害

■ 横浜、川崎市を含む県東部に渋滞が集中
横浜、川崎市を含む県東部に渋滞が集中
横浜、川崎市を含む県東部に渋滞が集中

平成18年度のみちづくり

右折レーン延長により渋滞緩和！

■ 対策内容
右折レーン延長により渋滞緩和

■ 対策の効果
右折レーン延長により渋滞緩和

■ 対策の効果
右折レーン延長により渋滞緩和

■ 対策の効果
右折レーン延長により渋滞緩和

■ 対策の効果
右折レーン延長により渋滞緩和

平成16年度から実施した主な事業

平成18年度実施事業

■ 平成15年から渋滞箇所数は、4箇所削減！
渋滞損失時間は、8百万人時間／年削減！

■ 平成16年度からの達成度評価

成果指標	16年度	17年度	18年度	19年度
1-1 渋滞発生率	87	87	86	86
1-2 渋滞損失時間	71	69	69	68
1-1 渋滞発生率	160	158	157	145
1-2 渋滞損失時間	160	157	146	132

平成19年度の達成度評価

平成16年度からの達成度の評価

神奈川の個性豊かなエリアのみちづくり

神奈川県を5つのエリアに分け、エリアごとの課題をまとめています。

神奈川県を5つのエリアに区分

- 県央エリア
- 横浜・川崎エリア
- 湘南エリア
- 箱根エリア
- 三浦半島エリア

横浜・川崎エリア

日本の産業を支える横浜港

■ 横浜港の貿易需要が伸びる
横浜港の貿易需要が伸びる
横浜港の貿易需要が伸びる

■ 平日に集中する船舶の渋滞
平日に集中する船舶の渋滞
平日に集中する船舶の渋滞

■ 目標 貨物車が効率よく走行できるようにします

エリア別	16年度	17年度	18年度	19年度
貨物車渋滞発生率	21.4%	17.7%	17.7%	17.7%

エリアの問題点

地図で渋滞状況を確認

エリア目標値の設定

むずかしい専門用語などについては、巻末に「むずかしい言葉の説明」を設けています。